

農機具安全に 使用方法学ぶ

日本農業新聞掲載日：令和7年11月14日（金）

J A 東京みなみは日野市内の畠で10月下旬、第2回就農者基礎講座「農業機械安全使用講習会」を開いた。就農予定の人や就農間もない農業者を対象に6人が参加。安全性の確認や、農機を長持ちさせるため、定期点検の重要性を説明した。

講師はJ A 営農支援担当の板井裕幸主任と青木彬晋主任が務めた。講習会で扱ったのは、トラクターやマルチャーなどの大型、中型農機から、チェーンソー、ブロワーなどの小型農機までの計7種類。実習を中心に講義をした。

具体的な注意事項として①安全に農機を使うためヘルメットを着用する②首にタオルなどを巻くと巻込まれやすく危険なため、作業時の服装に注意する③周囲をしっかり確認するなどを挙げた。

受講生から「実習を通して便利な反面、危険が伴うことを改めて認識した。実習で学んだことを忘れずに、安全で効率的に農機を使いたい。」と語った。



マルチャーの操作を教える板井主任と実習をする受講生ら（東京都日野市で）